

【主要事業】 一般県道 国東安岐線(下原工区) 道路改良事業

事業概要

路線概要

一般県道国東安岐線は、国東市中心部と国東市安岐町を結び、国道213号と並行する路線です。

周辺には企業（大分キャンオン等）、病院、小学校が立地しており、通勤・通学等の沿線地域の生活道路として重要な役割を担っています。

課題・目的

当事業区間（下原工区）は、架設後約80年を経過した橋梁が2橋あり、塩害等による損傷が著しいため、早急な対策が必要となっています。

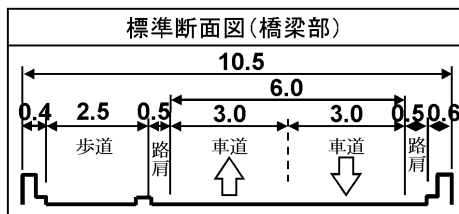
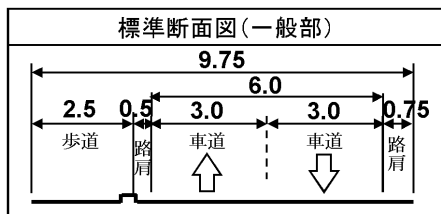
また、橋梁前後の道路には歩道が設置されていないことから、通学する児童などの歩行者は路肩を通行しており、車両との接触の危険性が非常に高い状況にあります。

このため、道路改良事業を実施し、老朽構造物の更新による道路ネットワークの強化し、歩道整備による安全な歩行・通学路空間の確保します。

計画概要

- ・ 場所：国東市安岐町下原
- ・ 延長：L=800m
- ・ 期間：H26～
- ・ 幅員：W=6.0(9.5～9.75)m

計画断面図



位置図



計画区間



状況写真

